

桜プロジェクトチーム

2015年のネパール大地震の応援団体として、学生が桜プロジェクトチームを創立しました。チームの目的は復興支援することでした。震災直後チームメンバーが震災地にいたら、気づいたことがありました。日本では震災の時避難所になる体育館等の施設がありましたが、ネパールではどこもそのような施設がなかった。それで、我々は災害時避難所になる体育館をネパールの国立学校で建設始めました。日本とネパールの友人関係を表すため、その体育館の名前を桜体育館にしました。現在は、桜プロジェクトチームはお主に、二つのプロジェクトを実行しています。

1. 桜体育館建設プロジェクト
2. 教育キャンププロジェクト

1. 桜体育館建設プロジェクト

ネパールでは避難所と避難訓練の認識がないため、学生や地域の人に防災意識を持ってもらうことが重要である。また安全に運動できる場所やアクティビティを行う場所がないため、避難所の機能を備えた体育館を建設することにより、安全に運動ができ、地震で落ち込んでいる人々を元気づけることができると考え、体育館建設をリサンク村へ提案した。募金活動で得た支援金を建設費用に当てるとともに、現在、体育館建設の設計・施工方法についてネパールの技術者と相談しながら建設を進めている。



<https://sakura-hall-project.com/>



<https://www.facebook.com/sakuralisankhu/>

2. 教育キャンププロジェクト

教育キャンププロジェクトの目的は、学生に世界で行われている実際の仕事を知り、体験することで将来の仕事のイメージを広く持って貰うことです。質の高い教育を目指して、リサソク村のブドダヤ高等中学校の桜ホールで教育キャンプを行っています。

2.1 第一回教育キャンプ (2015年)

第一回教育キャンプは、地震直後ネパールの復興支援にいたときに開催しました。災害時の行動について学生、村の人々に教育することが目的としていました。



2.2 第二回教育キャンプ (2019年)

第二回教育キャンプは、2日間開催され、キャンプの主催は、異なる職業を持つ4人のメンバーで構成されていました。国際的な建設プロジェクト、橋梁デザイナー、トンネルエンジニア、モーターエンジニアの分野のメンバーがそれぞれについて学生たちが振り合うイベントを行いました。防災教育、書道、日本料理等の文化交流イベントも開催しました。

